

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		広聴事項管理事業		担当課	秘書課	担当係	広聴係	管理番号	1311	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市広聴事項対応要領					
	小項目	4	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民の意見・要望・提案を市政運営に活かしていくため、市民を対象に市長への手紙や市長対話会及び子ども議会などを開催し、市民の意見・要望等を把握するものである。								
目的 ※何のために		市民の意見・要望・提案を市政運営に活かしていくため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び市内の各種団体等								
手段 ※どのように		子ども議会、市長対話会の開催や市長への手紙等を行う。								
成果 ※何を求めるか		市民の意見・要望等ニーズを把握する機会の充実を図るものである。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を 構成する 予算事業	区分		款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	2	広報広聴費		広聴事項管理事業	183,711
本事業の 主な業務	・子ども議会の開催								・	
	・市長対話会の開催								・	
	・市長への手紙・ファックス・Eメール処理業務								・	
	・中学生との対話会								・	
	・								・	
	・								・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	255,000	247,000	278,000	347,000		
	決算額	187,339	183,711	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	400	0		
		一般財源	187,339	183,311	278,000	347,000	
人件費	従事職員数(人)	2.20	2.20	2.20	2.20		
	人件費相当試算※	17,076,213	17,313,025	18,032,051	18,032,051		
総事業費試算		17,263,552	17,496,736	18,310,051	18,379,051		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
		実績値の算出式								
活動指標 1	対話会開催回数	目標値	回	20.00						
		実績値	4.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年、定例で開催される開催回数を参考に設定/（実績による）							
	実績値の算出式									
活動指標 2	市長への手紙受理件数	目標値	件							
		実績値	432.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市民が自発的に寄せるものであり、目標値を設定できない事業である。 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	市長対話会参加者数	目標値	人	1,000.00						
		実績値	367.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年、定例で開催される対話会の参加者見込数を参考に設定 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 2	市長対話会で出された意見・要望等の数	目標値	件							
		実績値	149.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		対話会の参加者が自発的に寄せるものであることから目標値を設定できない事業である。 / （実績による）							
	実績値の算出式									
成果指標 3	市長への手紙のうち施策に反映された件数	目標値	件	100.00						
		実績値	113.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去5年の施策に反映された件数の平均を参考に設定 / （実績による）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	市長への手紙は、おおむね例年どおりの数の受理があり、432件となった。対話会については、新型コロナウイルス感染防止のため、保護者との意見交換会、中学生との対話会は中止となってしまった。しかしながら、子ども議会、市長と語る集いについては、感染症対策を講じて実施することができた。また、新成人からの意見や提言を求めるアンケートや成人式実行委員会のメンバーとの対話会を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	保護者との意見交換会、中学生との対話会が中止となったため、対話会の開催回数・参加者数が大幅に減とはなってしまったものの、子ども議会・市長と語る集いについては感染対策などをとり、開催することができた。また、引き続き若者からの意見聴取として、アンケート及び対話会の実施をすることができた。
			評価者 広聴係長 塚越克文

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	新成人に対するアンケート調査では、成人式案内状の裏面を活用することで、郵送代などの経費を削減することができた。また、アンケートの回答を郵送での返信ではなく、e アンケートに誘導することでも経費を削減することができた。さらに、回答の集計も電子での集計であることから、業務も容易となり、業務時間の短縮が図れた。子ども議会については、タブレットを利用したICT化に寄与することができた。
			評価者 広聴係長 塚越克文

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	子ども議会については、小中学生の質問の際にタブレットを活用し、ICT化を図るとともにペーパーレス化を実現する。 二十歳を祝う会参加者に対するアンケート調査については、回答率が向上するよう依頼文やイラストなどのレイアウト構成の見直しや質問内容の検討を要す。
達成状況及び その効果	子ども議会では、タブレットを活用し質問や答弁を行い、また当日議場に出席でなかった子ども議員が自宅からリモート参加するなど、ICT化に積極的に寄与することができた。また、二十歳を祝う会参加者に対するアンケート調査においても、ウェブ上での質問・回答などレイアウトの工夫などをして対応することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	広聴事項管理事業	担当課	秘書課	担当係	広聴係	管理番号	1311
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対話会の回数など著しく少なくなり、目標に届かなかった。まだまだ暫くの間はコロナ前の状況に戻すのは困難であるが、そのような状況の中でも若者からの意見聴取を試みようと、二十歳を祝う会の実行委員との対話会を開催したり、その案内状の活用して市政PRやアンケート調査を行うなど取り組んだ。今後も、感染対策を講じつつ、可能なことを地道に、これまで通り進めていく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	秘書課長 塚原陽一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	対話会開催回数
<div><div><div><div>30</div><div>20</div><div>10</div><div>0</div></div><div><div>令和4年度</div><div>令和5年度</div><div>令和6年度</div><div>令和7年度</div><div>令和8年度</div><div>令和9年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div></div>			
区分	成果指標 1	指標名	市長対話会参加者数
<div><div><div><div>1500</div><div>1000</div><div>500</div><div>0</div></div><div><div>令和4年度</div><div>令和5年度</div><div>令和6年度</div><div>令和7年度</div><div>令和8年度</div><div>令和9年度</div></div><div><div>目標値</div><div>実績値</div></div></div></div>			